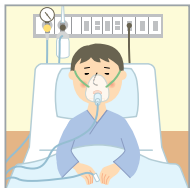


事例 2

40歳代 男性の体験談

分類は「中等症」 肺炎の症状があり酸素が投与されたが、人工呼吸器の使用などに至らなかったため「中等症」に分類



主な症状 39度を超える高熱、

肺炎・呼吸困難、
味覚障がい、咳

基礎疾患 なし

ワクチン 未接種

感染経路 同居家族と思われる

家族構成 妻と子

家庭内感染あり

発症から療養を終えるまでの日数 37日

	日	月	火	水	木	金	土
1週目			家族が発熱感染？	病院受診	家族の熱が下がる		発症 通院 自宅療養
2週目	PCR検査	陽性確定					
3週目	救急搬送 入院待機ステーション	入院					
4週目			自力でトイレに行けるように		歩行からリハビリ開始		
5週目	酸素投与終了						
6週目			22日後 退院	自宅療養			翌日曜まで

症状の詳細など

▶呼吸困難となり救急搬送

発症から1週間ほど38度～40度の熱が続きました。体が思うように動かないのは高熱によるものと思っていたので、肺炎による呼吸困難は自覚していませんでした。トイレから出た後に意識がもうろうとしていたようで、妻が救急車を呼んでくれていました。

▶持病もなく重症化しなかった

週末に15kmのランニングをするなど健康には気をつけていたので、正直なところ重症化しないだろうという気持ちはありました。それでも入院が必要となり、心電図や酸素のチューブ、尿道カテーテルに点滴など、たくさんの線につながれてトイレにも行けず、シャワーも浴びられない状態に。防護服を着て汗をかきながら対応してくれた医師や看護師の皆さんには、本当に感謝しています。

▶入院期間に体重が10kg減少

肺の画像を見た医師から「肺が真っ白になっている」と言われ、安静を指示された後、寝たきりの生活が長く続きました。退院時には全身が痩せ細り、体重が10kg減っていました。また、退院直後は肺の機能が回復していない上に筋力も衰えていたので、家の中を歩くだけでも息が上がる状態でした。

▶現在もリハビリは継続中

入院している間は面会禁止となるため、家族はずっと不安を抱えて過ごしていたようで、かなり心配を掛けてしまいました。退院から2カ月近く経ちますが、肺の機能はまだ元通りとは言えません。今でも信号を渡り切るために小走りになっただけで息が上がりますし、咳も続いています。感染を経験した身としては、基本の感染対策はできる限りした方がいいと伝えたいです。私にとっては心身ともに、今までで一番辛い体験になりました。

新型コロナウイルス感染症

感染事例で知る症状

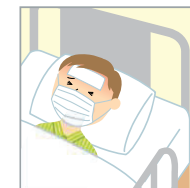
テレビなどで耳にする「軽症」や「中等症」、「重症」——。それらは、言葉から想像する症状より重いものかもしれません。ここでは、感染した方の体験談とともに、感染対策やワクチンの情報をお届けします。

※体験談はプライバシー保護の観点から、一部個人情報を変更しています

事例 1

30歳代 男性の体験談

分類は「軽症」 39度を超える高熱が出ていたものの、肺炎にならなかったため「軽症」に分類



主な症状 39度を超える高熱、

悪寒、激しい頭痛

基礎疾患 なし

ワクチン 未接種

感染経路 接客相手と思われる

家族構成 妻

家庭内感染あり

発症から療養を終えるまでの日数 11日

	日	月	火	水	木	金	土
1週目				感染？			発症 自宅療養
2週目	PCR検査	陽性確定	宿泊療養施設入所				
3週目			8日後 施設退所				

症状の詳細など

▶高熱が続く食事を取れない

39度を超える発熱があり、汗をかいているのに寒くて仕方がなかったです。体を起こすと頭痛がひどく、発症から施設入所までは寝たきりになりました。その間は食欲もなく、ゼリーと清涼飲料水を口にするのがやっとの状態でした。

▶職場で感染が広がっていないか不安な日々

無症状の期間は感染に気付かず出勤していたので、同僚にうつしていないかとても心配でした。濃厚接触者のPCR検査が全員陰性だったと連絡を受けたときは、心からほっとしました。

▶妻も感染し、味覚・嗅覚がなくなる

発症してから生活する部屋を分けたが手遅れで、妻も感染しました。私が感染したと思われる日から発症までの3日間は、感染に気付いていなかったので…。妻は37度ほどの発熱でしたが、味覚・嗅覚がなくなり、3週間ほど戻りませんでした。

▶職場の温かい声に助けられた

上司や同僚から「仕事は気にせず療養してね」「大変だったね」といった声を掛けてもらったのがうれしかったです。周囲から距離を置かれるのではないかなという不安な気持ちだが、とても楽になりました。

ワクチンに対する質問と回答

※Q&Aは厚生労働省ホームページより引用(8/20現在)

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

☎0120-761-770(毎日9時~21時)

厚生労働省のホームページでは、ワクチンに関する情報が随時更新されています。接種の判断にお役立てください。 **新型コロナワクチンQ&A** **検索**

聴覚に障がいがあるなど電話が難しい方は、
ファクス 03-3581-6251、
Eメール corona-2020@mhlw.go.jp



Q 日本で接種が進められている新型コロナワクチンにはどのような効果(発症予防、持続期間)がありますか。

A 日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

Q ワクチンを接種すると心筋炎や心膜炎になる人がいるというのは本当ですか。

A mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチン接種後、頻度としてはごくまれですが、心筋炎あるいは心膜炎になったという報告がなされています。軽症の場合が多く、心筋炎や心膜炎のリスクがあるとしても、ワクチン接種のメリットの方がはるかに大きいと考えられています。

Q ワクチンを接種した後も、マスクは必要ですか。

A ワクチンを接種することで、接種した人の発症を予防する効果だけでなく、感染を予防する効果も示唆するデータが報告されています。しかしながら、その効果は100%ではないため、引き続き感染予防対策を継続していただくようお願いします。

ワクチンの接種手続きに関すること

ワクチン接種の最新情報を伝える
ポータルサイト「ワクチンNAVI」

集団接種の予約受け付け状況や接種のスケジュール、接種率の速報などを掲載しています。

札幌市 ワクチンナビ **検索**

参考 札幌市内のワクチン接種別の重症度比較^{※1}(4/1~8/10)

	軽症・無症状 ^{※2}	中等症	重症	陽性者の合計	中等症以上比率
未接種者 ^{※3}	15,835人	1,613人	152人	17,600人	10.0%
1回目のみ接種者(14日以上経過)	90人	10人	0人	100人	10.0%
2回目接種者(14日以上経過)	44人	2人	0人	46人	4.3%

※1 数値は「札幌市の感染状況・医療提供体制」をもとに算出
※2 速報値のため程度不明の症例は軽症・無症状に含む
※3 速報値のため接種済みの方が含まれる場合がある

Q 私は妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することができますか。

A 妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の方も、ワクチンを接種することができます。mRNAワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。

※市内の集団接種会場で接種を希望する妊娠中の方は、事前に健診先の医師に相談の上、接種してよいと言われた際は、会場での旨をお伝えください

副反応などに関する相談は
北海道でも専用の電話窓口を開設しています
北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター

☎0120-306-154(毎日9時~17時30分)

聴覚に障がいがあるなど電話が難しい方は、
ファクス 799-0338(ホームページにある専用の様式を送信)

北海道 ワクチン接種相談センター **検索**

市内の集団接種は、9月上旬から30歳代、下旬から20歳代以下へと対象年齢の引き下げを予定しています。

札幌市新型コロナウイルスワクチン接種お問い合わせセンター

☎351-8646(毎日9時~18時)

聴覚に障がいがあるなど電話が難しい方は
市コールセンターのファクス 221-4894

※市コールセンターではなく、担当部署から折り返し連絡します

変異株では若い年代も中等症以上になる割合が増加

事例のように、「軽症」でも感染すると自分や周囲の生活に大きな影響を与えます。また、変異株の流行とともに、ワクチンを接種していない年代は症状が重くなる傾向が見られます。

市内の陽性者の年代別中等症以上の割合

	第3波 昨年11/1~12/31 従来株	第4波 4/1~6/30 アルファ株	第5波 7/1~8/10 デルタ株
30歳代	約125人に1人 (0.8%)	約23人に1人 (4.4%)	約20人に1人 (5.0%)
40歳代	約29人に1人 (3.5%)	約10人に1人 (10.0%)	約8人に1人 (12.7%)
50歳代	約15人に1人 (6.8%)	約5人に1人 (18.8%)	約4人に1人 (24.0%)

※数値は市危機管理対策室アドバイザー岸田直樹氏の「札幌市の感染状況・医療提供体制」をもとに算出

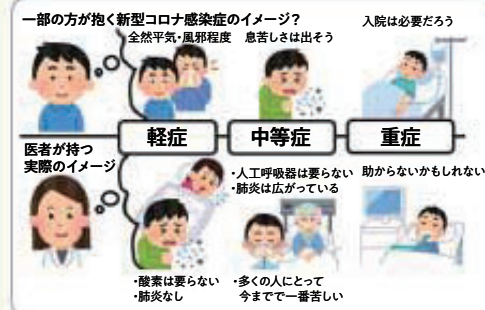
変異株にも基本的な感染対策が有効

感染力の高い変異株から身を守るため、基本の対策をより丁寧に行うほか、混雑した場所を避けて外出の機会を減らすなど、感染リスクを減らしましょう。

▶小まめな手洗い・手指消毒

▶マスクを正しく着けて飛沫を断つ

SNSで話題となったイメージ図



※出典:米国内科専門医・安川康介氏のツイッター(@kosuke_yasukawa)より

▶一つの密でも避けて「ゼロ密」に

人と人との距離は十分に保ち、会話する時間はできる限り短くして、大声は避けてください。今まで以上に換気することも忘れずに。



体調が「いつもと違う」と思ったらすぐに電話で相談を

かかりつけ医がない、分からない方

▶救急安心センターさっぽろへ電話

☎#7119(毎日24時間)

ダイヤル回線・一部IP電話からは☎272-7119

かかりつけ医がある方

▶かかりつけ医など身近な医療機関へ電話

聴覚に障がいがあるなど、電話が難しい方は、

ファクス 633-0746、

Eメール kansen_sogoannai@city.sapporo.jp

全日本ろうあ連盟ホームページ

全日本ろうあ連盟 相談窓口 **検索**

※新型コロナウイルスの検査は医師の判断で実施します。検査を受けた場合は、結果の連絡があるまで外出を控えてください

体調不良の不安やその他の相談先

札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口

☎0570-085-789(毎日9時~21時)

札幌市 コロナ よくある質問 **検索**

例えばこんな質問にお答えします

・身近な人から陽性になったと連絡があったが、接触のあった自分はどうなるのか[※]